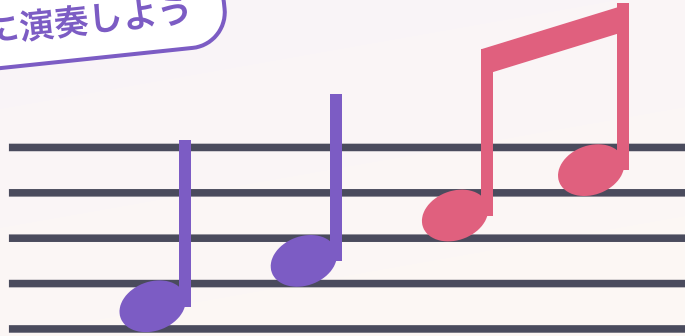


一緒に演奏しよう



仲間がいると心強いね

音楽仲間をつくる

一人より、みんなで奏でるほうが楽しい



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

音楽仲間を見つける	3～6
仲間と音楽をつくる	7～10
仲間と向き合う	11～14
仲間と歩む	15～19
練習しよう	20～24
ふり回り	25～30

音楽は、仲間がいたともっと広く深く楽しめます。



3

部活や授業で出会える場

楽器や歌を習う場

目的をもって集まる場

趣味でつながる場

出演者どうしの出会いの場

いちばん身近な音楽仲間

- 仲間は、身近な場所にもたくさんいます。
- 「音楽が好き」という共通点があれば、仲良くなりやすいものです。

部活やサークル・地域の合唱団・楽団

学校の中と外、それぞれにちがう仲間との出会いがあります。

部活やサークル

学校の仲間と

同じ目標に向かって練習

一体感が生まれる

先輩・後輩の関係

学び合いがある

地域の合唱団・楽団

地域の仲間と

年齢の幅が広い

いろいろな経験を聞ける

長く続けられる

地域とのつながりが生まれる

ポイント

- 学校の中と外、それぞれにちがう仲間との出会いがあります。
- どちらも、音楽を通して仲間を広げる大切な場です。

書いて覚えよう

オンラインでも、音楽を通じて仲間とつながれます。

- インターネットを通じて、遠くの人とも音楽でつながれます。
- 顔が見えない分、言葉づかいやマナーにはとくに気をつけましょう。
- オンラインでの交流も、大人に相談しながら安全に楽しみましょう。

1. オンラインで音楽を通じて交流するなら、気をつけたいことを書こう。

ワンポイント 個人情報を教えない、知らない人と急に会わないなど、基本のルールを忘れずに。

好きな音楽を紹介し合うと、会話がはずみます。

- 好きな曲や演奏を紹介し合うと、会話がはずみます。
- 知らなかった音楽に出会うきっかけにもなります。
- おすすめし合うことで、おたがいの好みを知ることができます。

1. だれかに紹介したい曲を1つ書こう。

バンドを組む

バンドを組むと、1人ではできない表現が楽しめます。

バンド

band

楽器や歌と一緒に演奏するグループ

メンバー

member

グループに参加する一人ひとり

ポイント

- バンドを組むと、1人ではできない音楽表現が楽しめます。
- 楽器の組み合わせやメンバーの得意分野を生かすことが大切です。

やってみよう

1. もしバンドを組むなら、どんな楽器やメンバーがいいか考えよう。

書いて覚えよう

得意なことを生かして、役割を分担しましょう。

- それぞれが得意なことを生かして、役割を分担しましょう。
- 演奏だけでなく、まとめ役や連絡係などの役割も大切です。
- 役割は固定せず、必要に応じて見直してもかまいません。

1. 自分が得意そうな役割を1つ書こう。

小さな約束事が、練習をスムーズに進めます。

1つずつ課題を決める

小さな約束事を決めておくと、練習がスムーズに進みます。

- 約束を守ることは、仲間への信頼につながります。
- 無理のない練習計画を、みんなで話し合って決めましょう。

書いて覚えよう

- 曲の解釈やテンポなど、意見が分かれることは自然にあります。
- どちらかが我慢するのではなく、話し合って落としどころを探しましょう。
- 一度試してから決める、という方法も有効です。

1. 意見が合わないとき、どう話し合うとよいと思いますか。

- 得意・不得意は人それぞれ。ちがいを認め合うことが大切です。
- できないことを責めるより、できることを見つけて伝えましょう。
- 尊重し合う関係が、長く続く仲間づくりの土台になります。

1. 仲間の良いところを1つ書こう。

一緒に上達する

仲間と一緒にだと、苦手な部分も乗り越えやすくなります。



Ken

前はできなかった部分、みんなで練習したらそろうようになったね。

Emma

うん、1人より、教え合いながらのほうが早く上達する気がする。



ポイント

- 仲間と一緒にだと、苦手な部分も工夫しながら乗り越えやすくなります。
- おたがいの成長を喜び合うことも、続ける力になります。

書いて覚えよう

仲間と本番・仲間と聴きに行く

仲間との本番と応援も、大切な関わり方です。

ポイント

- 仲間との本番は、1人の本番とはちがう緊張と喜びがあります。
- 本番を終えたあとの達成感を、仲間と分かち合えます。
- おたがいの本番を聴きに行くことも、仲間としての大切な関わり方です。

やってみよう

1. 今度、聴きに行きたい仲間の演奏はありますか。

書いて覚えよう

- 音楽は、年齢に関係なく一緒に楽しめる数少ない活動の1つです。
- 年上の人からは経験を、年下の人からは新しい発想を学べます。
- 年齢をこえた関係は、音楽を長く続ける支えになります。

1. 自分と年齢がちがう音楽仲間がいれば、書こう。

小さな心づかいの積み重ねが、良い関係を長く続けます。

- マナーを守ることは、仲間への思いやりの表れです。

仲間との思い出

仲間との音楽の思い出は、心に残るものです。

仲間の名前

出会ったきっかけ

一緒にした音楽の
活動

心に残っているこ
と

Emma の例

仲間の名前 クラスの合唱メンバー／出会ったきっかけ 合唱コンクール／一緒にした活動 毎日練習した／心に残っていること 本番でそろったときの気持ち

ポイント

- 仲間との音楽の思い出は、時間がたっても心に残るものです。

書いて覚えよう

- 進学や環境の変化があっても、音楽でのつながりは続けます。
- たまに連絡を取り合う、たまに一緒に演奏するだけでも関係は続きます。
- 無理に頻繁に会おうとせず、自然なペースを大切にしましょう。

1. これからも音楽で関わり続けたい人を1人書こう。

ここまでの内容を、自分の言葉で整理しよう。

まとめ 自分の言葉で書こう

1. 音楽仲間の大切さを、自分の言葉で書こう。 _____
2. 仲間との関わりで大切にしたいことは？ _____
3. これから広げたい仲間の輪は？ _____

ポイント

- 音楽仲間との関わりは、演奏の技術だけでなく、人とのつながりも育ててくれます。
- 尊重し合いながら、長く続く関係を大切にしていきましょう。

書いて覚えよう

聴いてくらべよう

1人の演奏と、仲間との演奏を聴きくらべてみよう。

くらべるところ	1人の演奏	仲間との演奏
音の厚み	1つの音の流れ	重なり合う響き
緊張感	1人で受け止める	分かち合える
達成感	自分だけのもの	みんなで喜べる

ポイント

- 1人の演奏と仲間との演奏を聴きくらべると、それぞれの良さに気づけます。

やってみよう

1. どちらの演奏にも、それぞれ良さを見つけて書こう。

書いて覚えよう

実際にやってみよう・ペアやグループで練習しよう

仲間を誘う会話を、実際に練習してみよう。

- A (誘って) 今度一緒に演奏してみない？
- B (こたえる) いいね、何の曲にする？
- A (提案する) 好きな曲を1つずつ持ち寄ろう
- B (同意する)

ポイント

- 仲間を誘う練習を、実際の会話でやってみましょう。
- 誘われたときのこたえ方も、自然な言葉で練習してみましょう。

やってみよう

1. ペアで、音楽の誘いとこたえの会話を演じてみよう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきを知ると、対策が立てやすくなります。

つまずき

よくあること

練習の予定が合わない

忙しさがそれぞれちがう

意見がぶつかる

感じ方や好みがちがう

1人だけ負担が大きい

役割が偏る

コツ

こうしてみよう

早めに予定を共有する

調整しやすくなる

話し合う時間を持つ

おたがいの考えを聞く

役割を見直す

負担を分け合う

ポイント

- 仲間との活動には、つまずきがつきものです。
- 話し合いと調整をくり返しながら、良い関係を築いていきましょう。

やってみよう

1. あなたが仲間とのことでいちばん気をつけたいことは？

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

仲間を見つける

☐ 合唱団・楽団

目的をもって集まる音楽の団体

☐ オンラインの仲間

インターネットを通じてつながる仲間

仲間とつくる

☐ バンド

楽器や歌と一緒に演奏するグループ

☐ 役割分担

それぞれが得意を生かして分ける仕事

仲間と向き合う

☐ 尊重する

ちがいを認め合うこと

☐ 一緒に上達する

おたがいに高め合うこと

長く続ける

☐ 仲間とのマナー

関わりを大切にふるまう

☐ 長く続ける関係

無理のないペースで続ける関係

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、仲間との関わりを人にも説明しやすくなります。

書いて覚えよう

ここまでの内容をチェックしよう。

● オ、ちがいを認め合うこと

3. 得意・不得意は → (比べる / 認め合う)

24

家でできる練習

日々の小さな関わりが、仲間との時間になります。

朝

今日話したい音楽仲間を思い浮かべる

練習中

仲間に教わったことを試す

連絡

仲間に近況を伝える

共有

好きな曲を1つ紹介する

夜

仲間との思い出をふり返る

週末

仲間と少し演奏してみる

ポイント

- 特別なことをしなくても、日々の小さな関わりが仲間との時間になります。

書いて覚えよう

発表してみよう・感想を書こう

仲間と一緒に、演奏を発表してみよう。

一緒に演奏した仲間

演奏した曲

役割分担

感じたこと

Ken の例

一緒に演奏した仲間 クラスの友だち／演奏した曲 合奏曲／役割分担 自分はリズム担当／感じたこと そろったときにとても気持ちよかった

感想を3文で書こう

① 今回は、～と一緒に演奏しました。② それぞれの役割は、～でした。③ 一緒にやって、～感じました。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

仲間との関わりは、これからも広がっていきます。

もっと知りたい人へ

地域の団体を
調べて見学してみる

先生に
仲間づくりの相談をする

先輩に
長く続く仲間との関係を聞く

次のステップ

教える・伝える
仲間に教える経験を積む

音楽を続けるコツ

仲間と続ける工夫を学ぶ

自分の音楽を表現する
仲間と一緒に表現を深める

ポイント

- この教材の次は「教える・伝える」。仲間に教える経験も、大きな学びになります。

書いて覚えよう

音楽仲間をつくるチャレンジ

教室の外でも、音楽仲間との関わりはすぐに始められます。

誘おう

音楽が好きな人を1人誘ってみる

共有しよう

好きな曲を1つ紹介する

続けよう

仲間との約束を1つ守る

こたえ

L19 (例) 支え合い、上達を助け合う存在／尊重すること／新しい仲間との出会い

L26 バンド→エ 役割分担→ウ 尊重する→オ 合唱団・楽団→ア 長く続ける関係→イ 2. 話し合う／守る／認め合う

L33 (例) 尊重し合い、支え合いながら音楽を楽しむこと。

書いて覚えよう

音楽仲間をつくる (Season 10 | No.97)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

詳しくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。